

チームエッフェガーラ

宇都木実 レースレポート

2011年9月25日

TOYOTA SL-KART MEETING FESTIKA Rd.4

YAMAHA スーパーSS (参加7台)

Festika Circuit

フレーム : birel RY30-S3
エンジン : YAMAHA KT100SD
タイヤ : プリチストン SL07
エンジニア : 加藤 真 (レーシングサービスエッフェガーラ)
メカニック : 立木 保 (チームエッフェガーラ)

◆ レース結果

TT 1位 (32.361)

予選 2位 (32.487)

プレファイナル2位 (32.500)

決勝 2位 (32.606)

今大会に向けて

私事情によりレースに向けての準備が出来ずにレース1週間前になる。土、日2日間詰めた練習をするが、なんとそれが思い切り裏目となってしまい体調を崩しレース出場も危ぶまれる状態になる。どうにか走れる状態に戻り出場を決めたが、モチベーションはかなり低下した状態でレースウィークに・・・

レースレポート (前日)

体慣らしとフレームの状態を探るべくのんびりと走行に入る。路面状態はまずまずだが追い込んだ走りも出来ずいまひとつタイムも上がらない状態フレームセットもいまひとつしっくり来ない・・・そんな中今回も高タイムを叩き出していたのは迫選手、タイム的にも走りにも、体力的にも余裕が無い状態で前日練習を終える。

公式練習

リング慣らしからゆっくりと入る・・・5週目あたりからアタックに入るがタイヤもピークまで剥けず、4番手タイムで公式練習を終える。結果的にTTにベストになるようにタイヤを残す形となった。今回も台数は少ないものの上位は僅差の争いの予感。

タイムトライアル

路面温度も多少上がりまずまずの状態。公式練習では最近の不調が垣間見える形となったが、何としてもP.Pを奪取すべく気合を入れる!! 幸いこのところ好調のAおやじを目標に出来、まずまずの好タイムでP.Pをゲット!・・・2番手には前日から好調の迫選手が僅差でつける。自分にも今までの余裕が無いので厳しい展開の様相を呈する。レースモードに切替え、改めて冷静なレース展開を心がける。

予選ヒート

スタートはうまく決まり1周目は後続を押さえたが、前日からの立ち上がりの差がもろに出て2周目に迫選手に先行を許すと、仕掛けるまで行けずそのまま2位でゴール。

プレファイナル

今年初めてのアウトスタート・・・ポジションを落とさない様に集中してスタート。2番手で1コーナーをクリア、そのまま迫選手に貼付くが、やはり蹴り出しの差があり、パッシングの組立てが出来ず抜くポイントが掴ないまま2位でゴール。

決勝ヒート

セットを変更しトップ奪回に向け集中・・・苦手なアウトスタートに集中するが完璧なスターとは行かず・・・1コーナーで陶山選手にインを取られ3番手にポジションダウン。その後バトルに持ち込み2位に上がるが、トップからは水を開けられた形になってしまう。後半は気持ちを入れ直しプッシュ・・・若干は差を詰めたがとどかず2位でゴール。



◆ 2011年度
シリーズランキング
1位 (57.5ポイント)
(Rd.4 終了時点)

レースを終えて

今回は秋口からの体調不良で勝つ為のモチベーションが低下していたのもあるが、連勝の難しさと年間を通して好調を維持する難しさを改めて痛感した形となりました。

次回はチャンピオン決めるべく集中することから始めます。前日からメカをしてくれたタモさん、加藤監督有難うございました。